



Obunsha

学ぶ人は、
変えて
ゆく人だ。

第67回全国 学芸サイエンスコンクール

理科自由研究 自然科学研究

社会科自由研究 人文社会科学研究

絵画 書道 小説 詩 読書感想文 作文 / 小論文
写真 ポスター / デザイン

得意なジャンルでチャレンジ!

小学生・中学生・高校生 作品大募集!



主催 旺文社 後援 文部科学省・環境省・こども家庭庁

特別協賛 フジテレビジョン・日本英語検定協会・大日本印刷



全国学芸サイエンスコンクールについて

旺文社主催／文部科学省・環境省・こども家庭庁後援「全国学芸サイエンスコンクール」は、全国の小学生・中学生・高校生の研究・アートおよび文芸の振興奨励と、その個性の育成を目的に、各界各方面からご賛同ご支援をいただき、昭和32年（1957年）の第1回開催以来毎年実施しているもので、今年度で第67回を迎えます。日本全国はもとより海外の学校からも多くのご参加をいただき、昨年度は9万点を超える作品が寄せられました。

今年度もサイエンスジャンル（理科系・社会科系の各研究分野）と学芸ジャンル（アート・文芸Ⅰ・文芸Ⅱ・環境の各分野）の2つのジャンルで作品を募集いたします。

幅広く多様な分野に多くの部門を設け、児童生徒のみならずがそれぞれの得意分野で制作した作品をご応募いただける総合コンクールとなっています。

優秀作品には、内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・環境大臣賞・分野賞のほか、協賛協力企業・団体より各種の賞が授与されます。

「青少年の感性を高め、創造力を伸ばす」というコンクールの教育的意義にぜひご賛同いただき、夏休みの創作活動をはじめ日々の学習成果の発表の場として、積極的なご応募を心よりお待ちしております。

募集部門一覧

募集部門		小学生の部	中学生の部	高校生の部	応募要項
サイエンスジャンル	サイエンス分野				
	① 理科自由研究部門	● ※小学4年生以上	●	—	P4
	② 自然科学研究部門	—	—	●	P4
	③ 社会科自由研究部門	● ※小学4年生以上	●	—	P5
	④ 人文社会科学研究部門	—	—	●	P5
学芸ジャンル	アート分野				
	⑤ 絵画部門	●	●	●	P5
	⑥ 書道部門	●	●	●	P5
	文芸Ⅰ分野				
	⑦ 小説部門	—	●	●	P6
	⑧ 詩部門	●	●	●	P6
	文芸Ⅱ分野				
	⑨ 読書感想文部門	●	●	●	P6
	⑩ 作文／小論文部門	● ※作文での応募	● ※作文での応募	● ※小論文での応募	P7
	環境分野				
	⑪ 写真部門	●	●	●	P7
	⑫ ポスター／デザイン部門	●	●	●	P7

賞について (賞は変わる場合があります。)



内閣総理大臣賞 賞杯

内閣総理大臣賞 (1点)

賞状・賞杯・楯・記念品・旺文社教育奨学金30万円
全作品中の最優秀作品に授与

文部科学大臣賞 (6点)

[サイエンスジャンル (3点) 学芸ジャンル (3点)]
賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金10万円
各ジャンルの小・中・高校生の部、各部の最優秀作品に授与

環境大臣賞 (1点)

賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金10万円
環境分野全部門の最優秀作品に授与

分野賞 (5点)

賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金5万円
5分野の最優秀作品に授与

- * サイエンス分野：日本科学技術振興財団理事長賞
- * アート分野：日本芸術院長賞
- * 文芸Ⅰ分野：早稲田大学総長賞
- * 文芸Ⅱ分野：慶應義塾長賞
- * 環境分野：共同通信社社長賞

学校特別奨励賞

(各部門1校 全12校)

表彰状・楯・図書カード3万円分
サイエンス分野・アート分野・文芸Ⅰ分野/文芸Ⅱ分野・
環境分野の各部門で優秀な作品を応募した学校に授与
フジテレビ学校特別奨励賞・大日本印刷学校特別奨励賞
日本英語検定協会学校特別奨励賞

部門賞金賞

(小・中・高校生各部、各部門1点 全16点)

賞状・記念品・図書カード1万円分(特別賞受賞者を除く)
小・中・高校生各部、各部門の最優秀作品に授与

審査委員特別奨励賞

(全4点)

賞状・記念品・図書カード1万円分
理科自由研究の部門賞金賞に準じる優秀作品に授与

旺文社赤尾好夫記念賞

(全377点)

賞状・記念品
各部・各部門の金・銀・銅賞と、入選者に授与

読書感想文部門努力賞 (全51点)

賞状・記念品 (各部の読書感想文部門で入選に準じた優秀作品に授与)

理科自由研究部門努力賞 (全34点)

賞状・記念品 (各部の理科自由研究部門で入選に準じた優秀作品に授与)

学校奨励賞

表彰状 (各部門で応募数の多かった学校に授与)

参加賞 (2024年2月下旬～3月上旬頃の発送予定)

コンクールに参加してくださった方全員に、参加賞を差し上げます。

※個人応募の方でも参加賞は学校経由でお届けします。あらかじめ担当の先生などにお話をしておいてください。

※塾応募の場合は、塾経由でお届けします。

※参加賞は作品を何点応募されてもお一人様一つとさせていただきます。



第66回参加賞
(第67回参加賞は未定です。)



第67回全国学芸サイエンスコンクール 応募要項

全分野共通

- 同一部門での応募は1人(1グループ)1点とする。
- 応募作品は自作、かつ※未発表のものとする。他の作品を模したのものや、他のコンクールに応募した作品は不可。
自作かつ※未発表ではない作品、盗作や不適切な引用などがあつた場合は、入賞後でも入賞を取り消しとする。
※未発表▶全国または都道府県規模のコンクールに応募した作品は応募不可。
- 破損しやすいもの、腐敗しやすいもの、危険物などは応募不可。
※破損した場合、当コンクールでは責任は負わないものとする。
- 応募作品・作品名・関連図書名、応募者氏名・学校名・学年は、主催者のWebサイトや刊行物などで発表することがある。またテレビ・雑誌などの各種媒体で発表することがある。(発表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがある。)

サイエンス分野 ※上記の全分野共通の注意事項も必ずご覧下さい。

- 小学4年生～高校3年生対象。
- グループなど共同制作した作品の応募も可。グループ応募の場合は、作品の巻末に**グループ名と制作者全員の
名前、指導した先生名**を明記し、応募用紙・応募票の名前の欄に**グループ名**と制作に携わった**人数**を記入。
- レポート用紙を使用した場合は、**必ずページ番号をふる**。パソコン入力などのプリントアウトも同様。
- 規定枚数に足りない作品は、選外となる場合がある。
- 『継続研究』について
Part2、Part3などの継続研究を応募する場合は、作品の1ページ目に Part ごとの研究成果や発展内容を簡潔にまとめること。また、コンクール受賞歴がある場合は、受賞したパートに「○○コンクール 西暦何年受賞」と記載のこと。

① 理科自由研究部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 ※小学4年生以上 中学生の部

- テーマ → 自由。
- 内 容 → 理科に関する自由研究。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。
参考文献を明記すること。
- 枚 数 → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。枚数は規定なし。
小学生は模造紙・画用紙使用も可。

② 自然科学研究部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

高校生の部

- テーマ → 自由。
- 内 容 → 物理・化学・生物・地学などの理系に関する研究論文。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。
資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。
- 文字数 → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。文字数は8,000字以上。
本文8,000字には、参考文献・図版・写真・注釈等は含まない。

③ 社会科自由研究部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 ※小学4年生以上 中学生の部

- テーマ → 自由。
- 内容 → 社会科に関する自由研究。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。
- 枚数 → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。枚数は規定なし。
小学生は模造紙・画用紙使用も可。

④ 人文社会科学部

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

高校生の部

- テーマ → 自由。
- 内容 → 地理・歴史・現代社会・文学などの文系に関する研究論文。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。
- 文字数 → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。文字数は8,000字以上。
本文8,000字には、参考文献・図版・写真・注釈等は含まない。

アート分野

※ P.4 の全分野共通の注意事項も必ずご覧ください。

- 小学1年生～高校3年生対象。
- 個人作品に限る。

⑤ 絵画部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 中学生の部 高校生の部

- テーマ → 自由。
- 素材 → 自由。
- サイズ → 四つ切り (380mm×540mm) 以上～ 50号 (1,167mm×910mm) 以内。
※規定より小さい作品を規定サイズの紙に貼るなどした場合は、選外となる。
- その他 → 立体作品は不可。また、立体物や破損しやすいものを貼り付けた作品も選外となる。

⑥ 書道部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 中学生の部

- 文字・書体 → 自由 (学年に合ったものを選ぶこと)。
- サイズ → 半紙または画仙紙半折の1/4 (約340mm×350mm) を使用。
- 文字数 → 小学1～3年は2字以内。
小学4～6年は6字以内。
中学生は6字以内。
- その他 → 学年・名前を小さく書き入れること。

高校生の部

- 文字・書体 → 自由題で、書体・書式は自由。
- サイズ → 画仙紙半切大 (約1,350mm×350mm) または画仙紙^{わん}聯落ちを上方向から580mmに切ったもの (約580mm×530mm) を使用。半紙は不可。
- その他 → 作品の読み方を応募票に必ず明記すること。仮表装の必要なし。

文芸Ⅰ分野

※ P.4 の全分野共通の注意事項も必ずご覧下さい。

- 小学1年生～高校3年生対象。(小説部門のみ中学1年生～高校3年生対象)
- 個人作品に限る。
- 原稿用紙は400字詰め原稿用紙を使用し、**必ずページ番号をふる**。パソコンなどで作成し、プリントアウトした作品にも、**必ずページ番号をふる**。書き出しに題名・名前を明記すること。
- 原稿用紙は袋とじにせず開いた状態で右上をホチキスや綴じひもなどで綴じること。
- 規定枚数を超えた作品は、選外となる。

⑦ 小説部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の一枚目右上にホチキスどめ

中学生の部 高校生の部

- テーマ → 自由。
- 枚数 → 400字詰原稿用紙10枚から80枚以内で、タテ書きとする。
パソコンを使用する場合には1枚を400字詰めとすること。
- その他 → 原稿用紙1枚程度に※「**あらすじ**」をまとめ、作品の冒頭に必ず添付する。なお、「あらすじ」は規定枚数には含まれないため、ページ番号はふらないこと。
※「**あらすじ**」がない場合は、選外となる。

⑧ 詩部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の一枚目右上にホチキスどめ

小学生の部 中学生の部 高校生の部

- テーマ → 自由。
- その他 → 400字詰原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。
自筆作品(手書き)に限る。パソコン入力したものは不可。

文芸Ⅱ分野

※ P.4 の全分野共通の注意事項も必ずご覧下さい。

- 小学1年生～高校3年生対象。
- 個人作品に限る。
- 原稿用紙は400字詰め原稿用紙を使用し、**必ずページ番号をふる**。パソコンなどで作成し、プリントアウトした作品にも、**必ずページ番号をふる**。書き出しに題名・名前を明記すること。
- 原稿用紙は袋とじにせず開いた状態で右上をホチキスや綴じひもなどで綴じること。
- 規定枚数を超えた作品は、選外となる。

⑨ 読書感想文部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の一枚目右上にホチキスどめ

小学生の部 中学生の部 高校生の部

- 書籍 → 自由。
- 枚数 → 400字詰原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。(パソコン入力可)
▶ 小学1～4年生 2～3枚 ▶ 小学5・6年生 3～4枚 ▶ 中学生・高校生 4～5枚
- 書き出し → 1行目はタイトル、2行目は名前、3行目から本文スタート。
- その他 → 応募票に、書名・著者名・出版社名を明記すること。

⑩ 作文／小論文部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の一枚目右上にホチキスどめ

小学生の部 **中学生の部** 作文での応募となる。

高校生の部 小論文での応募となる。

- テーマ → 自由。
- その他 → 高校生の小論文は自分の意見や判断・推論などを述べたもの。
参考文献を明記すること（規定枚数には含まれない）。
- 枚数 → 400字詰原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。（パソコン入力可）
 - ▶ 小学生 2～6枚
 - ▶ 中学生 4～10枚
 - ▶ 高校生 8～20枚

環境分野

※ P.4 の全分野共通の注意事項も必ずご覧下さい。

- 小学1年生～高校3年生対象。
- 個人作品に限る。
- 環境をテーマにした作品に限る。
- 作品名は必ず応募票に明記すること。

⑪ 写真部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 **中学生の部** **高校生の部**

- テーマ → 地球の砂漠化問題、温暖化問題、身近な生活環境問題、生物の多様性がおびやかされる問題など、環境をテーマにした写真。環境保全について意識を高めるものに限る。
- サイズ → 六つ切り (203mm×254mm) 以上～四つ切り (254mm×305mm) 以内。デジタル写真は、規定サイズ範囲内の写真用光沢紙にプリントアウトしたものに限り。
- その他 → 作品のタイトルを必ず応募票に明記する。カラー・モノクロのいずれでもよい。スマートフォン、デジタルカメラなど、静止画を撮影できるすべての機器で撮影した作品。画像の加工や合成*など、修正した作品は不可。

* 合成とは、作品表現上、重要な要素になるような加筆や削除など二次的な画像加工処理を施すことを指す。軽度の明るさ、色の補正は合成には入らない。

⑫ ポスター／デザイン部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 **中学生の部** **高校生の部**

ポスター

- テーマ → 地球の砂漠化問題、温暖化問題、身近な生活環境問題、生物の多様性がおびやかされる問題など、環境をテーマにした作品。ポスターには、ふさわしい言葉やキャッチフレーズを入れること。また、キャッチフレーズと作品タイトルは同一にすること。
- サイズ → B3 (515mm×364mm) 以上～B全判 (1,085mm×765mm) 以内。

デザイン

- テーマ → 地球の砂漠化問題、温暖化問題、身近な生活環境問題、生物の多様性がおびやかされる問題など、環境をテーマにしたエコデザイン、絵柄・図案等を表現した作品。壊れやすいものは不可。
- サイズ → B全判 (1,085mm×765mm) 以内。



第67回全国学芸サイエンスコンクール 応募方法

▶応募用紙・応募票

コンクールホームページからダウンロードしてお使いください。

▶学校番号

必須になりますので、不明な場合はコンクールホームページで検索いただくか、コンクール事務局にお問い合わせください。

Eメール **gakkon@obunsha.co.jp**

ホームページ **<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>**

学校でまとめて応募する場合

学校応募用紙【必ず作品に同封】作成の注意

「学校応募用紙」は応募票と切り離し、必要事項を明記のうえ、応募作品と一緒にお送りください。
作品の応募点数が多い部門につきましては、あらかじめ校内選考のうえ、各部門10点以内でご応募ください。
「校内総応募点数口点中 コンクール応募点数口点」と必ずご記入ください。
参加賞は校内応募者を含む応募者全員にさしあげます。学校応募用紙は、学校用控えとして必ずコピーをとり、保存しておいてください。

応募票【必ず作品に添付】作成の注意

応募票は作品1点ごとに、正副（切離し不可）の両方に同一の必要事項を記入し、作品に添付してください。
（添付方法は次ページ参照）
その際、「学校応募」欄に○をしてください。グループ応募の場合、名前欄にはグループ名と制作に携わった人数を（ 名）に記入してください。

個人で応募する場合

個人応募用紙【必ず作品に同封】作成の注意

「個人応募用紙」は応募票と切り離し、必要事項を明記のうえ、応募作品と一緒にお送りください。

応募票【必ず作品に添付】作成の注意

応募票は作品1点ごとに、正副（切離し不可）の両方に同一の必要事項を記入し、作品に添付してください。
（添付方法は次ページ参照）
※なお、入賞のご連絡や参加賞のお届けなどは、学校経由としております。
あらかじめ担当の先生などにお話しておいてください。

塾でまとめて応募する場合

塾応募用紙【必ず作品に同封】作成の注意

「塾応募用紙」は応募票と切り離し、必要事項を明記のうえ、応募作品と一緒にお送りください。

応募票【必ず作品に添付】作成の注意

応募票は作品1点ごとに、正副（切離し不可）の両方に同一の必要事項を記入し、作品に添付してください。
（添付方法は次ページ参照）
※なお、入賞のご連絡は学校経由となります。参加賞は塾にお送りいたします。
あらかじめ担当の先生などにお話しておいてください。



応募票を作品に貼り付け

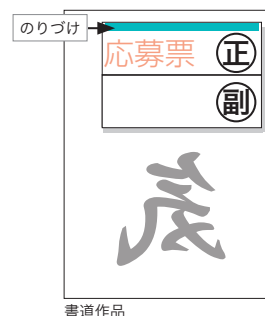
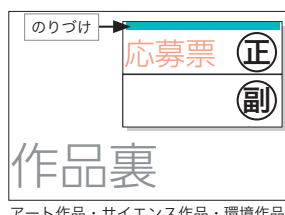
添付する際には、応募票（正）の上部にのりを付けてください。
応募票（副）にはのり付けしないようお願いいたします。

●サイエンス分野

●アート分野

●環境分野

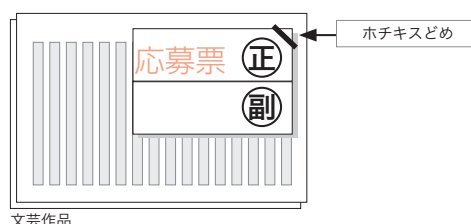
作品のウラに軽くのり付け
書道部門はウラの右上に軽くのり付け



●文芸Ⅰ分野

●文芸Ⅱ分野

作品の一枚目右上にホチキスどめ



応募用紙と作品を送付（Eメールでの応募はできません。）

送付用封筒には、「応募対象」（『高校生の部』など）・「応募部門」（『書道部門』など）を赤字で明記してください。

応募締切 2023年9月22日（金） 当日消印有効

応募先 〒162-8680 東京都新宿区横寺町55
株式会社 旺文社
全国学芸サイエンスコンクール事務局
電話 03-3266-8002
※ Eメールでの応募はできません。

作品返却について

作品返却は原則いたしません。必要に応じてコピーや写真をとっておいてください。ただし、サイエンスジャンル・絵画・ポスター・書道に限っては、希望者に限り返却対応をいたします。

返却にかかる費用は、応募者のご負担となります。※ゆうパック使用予定（着払い）。その他の宅配業者を使用する場合があります。

なお、金銀銅賞受賞作品は、2024年3月8日（金）の表彰式で展示予定です。ご返却を希望された場合は、表彰式後のご返却となりますことをご了承ください。

◆応募作品の著作権について

入賞作品を含むすべての応募作品の著作権は、応募者（作者）に帰属します。
ただし、応募者は、応募の時点で、主催者（旺文社）が応募作品について作品集、ホームページ、動画集などへの掲載および事業における利用等を含む自由な利用を行うこと、ならびに旺文社の取引先および新聞社等を含む第三者に対し利用させることを許諾するものとします。また、主催者（旺文社）は、上記利用にあたり必要な範囲での改変、翻案および編集等を行うことができるものとします。

◆個人情報の取り扱いについて

応募の際に提供された個人情報は、コンクール運営業務の目的以外では使用されることは一切ありません。
旺文社の個人情報保護方針については、旺文社ホームページにも掲載しております。



第67回全国学芸サイエンスコンクール 選考・審査について

全国から寄せられた応募作品は、2023年10月中旬から各部門ごとに担当の先生方による
数次にわたる厳正な選考・審査を経て、各部門の入賞候補作品が選出されます。
2023年12月の最終審査会において金賞・特別賞作品が選出されます。

サイエンスジャンル最終審査会

サイエンスジャンル最終審査委員(予定)

- ◎ 国立研究開発法人 科学技術振興機構
研究開発戦略センター長 野依 良治
- 全国高等学校長協会会長 石崎 規生
- 全国中学校理科教育研究会会長 大熊 一正
- 全国連合小学校長会会長 大字弘一郎
- 全国小学校理科研究協議会副会長 関 修一
- 全日本中学校長会事業部長 竹之内 勝
- 全国中学校理科教育研究会顧問 田中 史人
- 学校法人 希望が丘学園 学園統括顧問 日置 光久



学芸ジャンル最終審査委員(予定)

- ◎ 日本芸術院長 高階 秀爾
- 作家 阿刀田 高
- 日本書道教育学会会長 石橋 鯉城
- 写真家 大石 芳野
- 環境省大臣官房総合政策課
環境教育推進室室長 河村 玲央
- 東京国立博物館長 銭谷 眞美
- 内閣府政策統括官(政策調整担当)付
青少年企画・支援担当調査官 立石 浩司
- 元全国造形教育連盟委員長 永関 和雄
- 昭和女子大学名誉教授 西本 鶏介
- 日本文藝家協会副理事長・
武蔵野大学名誉教授 三田 誠広
- 美術評論家 峯村 敏明
- 文部科学省初等中等教育局
主任視学官 宮崎 活志

学芸ジャンル最終審査会



(50音順・敬称略 ◎は審査委員長)



小学生の部 絵画部門 「ちょっとうれしい朝食」
茨城県 江戸川学園取手小学校 5年 田嶋 佑清 さん



中学生の部 絵画部門 「静謐」
◆文部科学大臣賞
茨城県 江戸川学園取手中学校 3年 國岡 杏奈 さん



高校生の部 絵画部門 「邂逅」
◆日本芸術院長賞
神奈川県横須賀市立横須賀総合高等学校 3年 上地 葵 さん



高校生の部 書道部門 「蘭亭叙全臨」
広島県立祇園北高等学校 1年 渡部 結愛 さん



小学生の部 書道部門 「生」
熊本県熊本市立日吉東小学校 2年 緒方 煌都 さん



中学生の部 書道部門 「復興」
広島県 安田女子中学校 3年 平田 向葵 さん



小学生の部 写真部門
「異空間へつながるトンネル、霧立つ土合駅 ローカル線存続が温室効果ガス減少につながる」
神奈川県横浜市立幸ヶ谷小学校 5年 玉木 蔵之介 さん



高校生の部 写真部門 「街は変わる。河原は変わらない」 ◆環境大臣賞
東京都 東京都市大学付属高等学校 3年 松田 隆広 さん



中学生の部 写真部門 「いっぱい食べてフードロス無くそう」
愛知県 聖霊中学校 1年 伊藤 沙恵 さん



小学生の部 ポスター/デザイン部門
「まもろう ちぎゅうのはこぶね」
東京都 玉川学園小学部 2年 長谷川 廣太郎 さん



中学生の部 ポスター/デザイン部門 「海を汚すな！」
三重県 高田中学校 2年 加藤 緋菜



高校生の部 ポスター/デザイン部門 「私達の手が海を壊す。」
◆共同通信社社長賞
神奈川県川崎市立川崎総合科学高等学校 2年 カ丸 雪乃 さん

小学生の部 理科自由研究部門

内閣総理
大臣賞

「おしっこの研究 2022」

福岡県福岡市立馬出小学校 5年 蒲池 泰大さん

前回のうちの研究で、pH というものの存在に気づいた。今回は「おしっこは野菜を過剰摂取したときにアルカリ性、肉を過剰摂取したときに酸性になる」ということを知り、また自分の体で検証したくなった。それがこの研究を始めた理由。

この研究では、自分の食べた食材にどのくらいのタンパク質が入っているのか調べること、1日に50g以上とるためのタンパク質計算をすることが一番大変だった。文科省の日本食品標準成分表などを参考に、毎食計算していくこと自体頭を悩ませた。正直計算

は面倒くさかったけど、プロテインを飲みすぎた翌日に、おしっこは酸性に傾き、体調も悪くなったので、自分の体で立証できたのはやはり楽しかった。

今回、内閣総理大臣賞に自分の名前が書かれているのを見たときは喜びよりも驚きのほうが大きく実感がなかった。賞を取るつもりでやっていた研究ではなかったけど、それを認めてもらって嬉しい感情が少しずつ出てきている。

小学生の部 社会科自由研究部門

文部科学
大臣賞
サイエンスジャンル

「南青山7丁目交差点の調査 ～歩行者がより早く安全に渡れるために～」

東京都港区立青南小学校 6年 加藤 あんりさん

この度は栄誉ある賞を頂き、ありがとうございます。この研究は先生方、両親の支え無しではできなかったことですので、心から感謝しています。

今年の自由研究は、家のそばにある交差点について調べたいと思いました。それは、この交差点は、反対側に渡るのにとっても時間がかかり不便である上、車も多く事故が発生しやすい危険な場所で、通行人がより早く安全に渡れる方法はないかと毎日考えていたからです。実際に信号のタイミングや交通量、歩行者の横断の仕方を調

べてみると、長い信号を待ちきれず車道を渡る人が度々みられました。そのため私は、新しい歩道を作ってはどうかと考え、調査をまとめていきました。

暑期中、長時間調べるのは本当に大変で、結論をまとめることも難しく諦めたくもありました。しかし、今思うと頑張ったよかったと感じます。私の研究が、この交差点を、そして日本中のこのような場所を見直すきっかけになれば嬉しいです。

中学生の部 理科自由研究部門

文部科学
大臣賞
サイエンスジャンル

「モンシロチョウの研究 ～継続的な生体展示を可能にするための代替餌と人工飼料についての考察～」

香川県東かがわ市立引田小中学校 8年 林 千早さん

この度、文部科学大臣賞という栄えある賞を賜りましたこと、大変光栄に思います。発表の機会を与えてくださった学校の先生、ご指導いただいた昆虫館の先生、審査委員の先生、研究にあたって支援して下さった全ての方々へ感謝いたします。

今回の研究は、人工飼料と代替餌の実用性を調べました。実験期間中は次々と幼虫が亡くなったり、毎日の計測作業が長時間になったりするなどして、気持ちが折れそうになりましたが、それら乗り越えて研究をまとめることができ良かったです。

研究を通して、累代飼育を維持する昆虫館や、希少種の保全に取り組んでいる方々の労力と技術について考えることができました。私の尊敬している先生が「知らないものや興味のないものを大切にすることはできない。好きと思ってもらうことから保全活動や後継者の育成は始まる。」とおっしゃっていて、「モンシロチョウのことが好きでもっと知ってほしい。」という研究の最初の動機と重なり励まされました。これからも研究を続けて、展示施設「モンシロランド」を実現させたいです。

高校生の部 人文社会科学部

文部科学
大臣賞
サイエンスジャンル

「子ども文庫に学ぶこれからの読書教育」

奈良県 東大寺学園高等学校 3年 谷津 凜勇さん

この度は、文部科学大臣賞という栄えある賞を賜り、誠にありがとうございます。驚きつつも、引き続き読書教育の実践と研究を深めようと決意を新たに致しました。

「子ども文庫」という場をご存知でしょうか。「子ども文庫」とは、戦後の貧しい読書環境を目の当たりにしたお母さんたちが「子どもたちに良い本を！」と立ち上がった日本独自の草の根的運動のもとに営まれている小さな民間図書館です。この研究では、そんな子ども文庫の現在から読書教育の未来を考察してみました。

実は、私自身も幼い頃に子ども文庫に通っており、4000冊の絵本や児童書に触れて本の虫になった人間です。中学生になって一度は文学の世界から離れていたのですが、コロナ禍による一斉休校中に暇を持て余して読んだ『ツバメ号とアマゾン号』で児童文学の面

白さに目覚め、児童書を紹介するフリーペーパー「月あかり文庫」を1人で創刊し、学校司書や絵本雑誌編集者、児童文学作家などの仲間たちとNPO団体Dor til Dor(ドア・チル・ドア)を設立するに至りました。こうして読書教育に邁進する私にとって、理想の読書体験は、やはり子ども文庫で本を読み漁った思い出です。

この度の受賞は、決して私一人のものではなく、半年にわたる観察調査に協力して下さったM文庫の皆様のものでもあります。全盛期には全国に4500あった子ども文庫も、現在は衰退の一途をたどっています。本研究を通して、子ども文庫の意外と気づかれていない「教育空間」としての側面に光を当てたことで、少しでも子ども文庫の力が再評価されることを願ってやみません。

小学生の部 詩部門

文部科学
大臣賞
学芸ジャンル

「ひいおじいちゃんの七月二十四日」

愛知県蒲郡市立三谷東小学校 4年 玉越 紗良さん

私は今幸せな気持ちでいっぱいです。夢のようなすてきな賞をいただき、ありがとうございました。この受賞を一番喜んでくれたのは、ひいおばあちゃんでした。「じいちゃんの事書いてくれてありがとうね。」と、うれしそうな顔でおめでとうを言ってくれました。急いで仏壇のところに行って、このことを知らせました。写真のひいおじいちゃんも笑っているように見えました。きっと天国で喜んでくれていると思います。

ひいおじいちゃんは夏休みに入ってすぐに天国に行ってしまったので、この悲しみを詩に表すことにしました。何年か会えなかったけれど、この夏は、おそう式、毎週のお経、おはかにほねを入れるなど、いつもそばにいられたような気がしました。家族がなくなってしまうのは、こんなに悲しいことなんだと初めて思いました。これからも家族や友達といっしょにいる時間を大切に過ごしていきたいなと思いました。

中学生の部 絵画部門

文部科学
大臣賞
学芸ジャンル

「静謐」

茨城県 江戸川学園取手中学校 3年 國岡 杏奈さん

私が中学校に入学する直前、唐突なパンデミックが世界の動きを止め、私の小学校卒業前から中学校入学後の数ヶ月間の学校生活はオンライン授業となってしまいました。

やがて登校が開始されましたが新生活への移行は緩慢なものになってしまいました。1年生の間は新しい環境に馴染むことに費やし、2年生になってようやく陸上競技部に入部しました。そんな2年生の晩秋のある日、部活帰りに立ち寄った公園の情景です。

休日なのに遊ぶ子どもたちもいない公園は静寂に包まれ、ひびく百舌鳥

の囀りだけが耳に残っています。この3ヶ月後にロシア軍がウクライナに侵攻するというニュースを聞きました。彼の地にも静謐が訪れることを祈りながらこの絵を描きました。

小学校2年生の時から絵画の指導をしてくださっている井沢先生と玉井先生、いつも支えてくれる両親に、この場をお借りして感謝申し上げます。それから作品に登場してもらった冴香へ、「私を陸上部に誘ってくれてありがとう。」

高校生の部 読書感想文部門

文部科学
大臣賞
学芸ジャンル

「人生のスクラップ・アンド・ビルド」

東京都 学習院女子高等科 1年 鈴木 彩心さん

この度は文部科学大臣賞という栄誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。驚きとともに、強い想いを込めて書いた作品に目を留めていただき、大変嬉しく思っております。

今回、私は「死」をテーマにしようと思いをこめ、この『スクラップ・アンド・ビルド』という作品にたどり着きました。これは私自身、祖母やお世話になった方々の死を経験し、死について考える機会が多くあったことがきっかけです。しかし読み進めるうちに伝えたい

事、湧き上がった感情が多く、一度はこの本で書くことを諦めた程でしたが、それらの言語化に挑戦した過程は、私自身を大きく成長させるものだったと思います。

「死」というテーマは深く重いものであるため、様々な考え方がありますが、今回の感想文で、私なりの死に対する見解をできる限りの力で表現することができたと思います。今後も読書を通じて、自分の世界観を広げていきたいです。

高校生の部 写真部門

環境
大臣賞

「街は変わる。河原は変わらない」

東京都 東京都大学付属高等学校 3年 松田 隆広さん

この度は、環境大臣賞という栄えある賞を頂きまして、ありがとうございます。

この作品は、部活動の帰り道、河川敷で撮影した写真です。

この河原は、私にとって、中学高校6年間、先輩達仲間達と、思いっきり遊んで時間を過ごした思い出深い場所です。

6年間を振り返ると、中学1年の時には、無かったマンションが次々と建ち、河原からの景色が一変しました。護岸は、瞬く間に整備され、水面のアメンボが見えなくなりました。

林立するマンション群と狭くなった川面を眺めながら、部活の仲

間達と夕暮れまで河原に座り、自分達の将来と変わりゆく景色について話す事もありました。

街は新しく生まれ変わっていく、河川敷の自然は失われていく。私達が過ごした河原、仲間達と過ごした時間、そして守るべき自然は、変わる事なく続いていく。変わってはいけないものは、守らなきゃいけない、変わってはいけない。この写真に込められたメッセージです。

最後になりましたが、受賞にあたって、ご尽力下さいましたコンクール関係者の皆様方、ありがとうございました。

第67回全国学芸サイエンスコンクール

主催

株式会社旺文社

後援

文部科学省
環境省
こども家庭庁

特別協賛

株式会社フジテレビジョン
公益財団法人日本英語検定協会
大日本印刷株式会社

特別協力

公益財団法人日本科学技術振興財団
日本芸術院
学校法人早稲田大学
学校法人慶應義塾
一般社団法人共同通信社

金賞作品集

金賞作品を収録した作品集をご応募いただいた学校・塾と入賞者の方々にお送りしています。また、表彰式・受賞パーティーにて出席者・ご来賓の方に贈呈しています。



第66回金賞作品集

協賛

岩岡印刷株式会社	株式会社大塚商会
株式会社大林組	カシオ計算機株式会社
共同印刷株式会社	旭洋株式会社
三省堂印刷株式会社	株式会社システムシンク
株式会社シロキ	中越パルプ工業株式会社
図書印刷株式会社	日新印刷株式会社
日本紙通商株式会社	一般財団法人日本生涯学習総合研究所
公益財団法人日本書道教育學會	日本製紙株式会社
株式会社パイロットコーポレーション	株式会社みずほ銀行
三井住友海上火災保険株式会社	株式会社モリサワ
ロジテムエージェンシー株式会社	

ラピス

全国学芸サイエンスコンクール
公式キャラクター



「ラピス」はスペイン語で「えんぴつ」。鼻の部分がえんぴつなんです。現在小学校をはじめ、多数の教育現場で、えんぴつの使用が推奨されています。そんな「ラピス（えんぴつ）」は児童生徒の学びや表現、創造のシンボルともいえます。また、悪夢を食べてくれるといわれる「ばく」もモチーフとなっており、児童生徒に夢と希望を持ち続けて欲しいという願いが込められています。体の緑は「健康」をイメージし、見る人に健やかな印象を与えます。「ラピス」という軽やかな響きも覚えやすく、皆さまに愛されるキャラクターとなることでしょう。ラピスは全国学芸サイエンスコンクールの創造と希望の象徴です。私たちはラピスと共に、夢を実現していく児童生徒を応援します。

〒162-8680 東京都新宿区横寺町55 株式会社 旺文社 全国学芸サイエンスコンクール事務局

Eメール gakkon@obunsha.co.jp (Eメールでの作品応募はできません)

電話 03-3266-8002 FAX 03-3266-6849

ホームページ <https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>

全国学芸



でも検索可能です。

学校番号の検索や応募用紙のダウンロードができます。



コンクールの
ホームページは
こちらから

